

## 都市型朝市の成功事例に関する調査

2017年9月14日

文責：中本良平，富永麟太郎，河村怜子，小西里加子，近藤真紀

本プロジェクトでは、都市型朝市の成功事例として青山ファーマーズマーケット、赤坂アークヒルズマルシェ、恵比寿マルシェの3つと広島市の平和大通り緑地帯で行われているひろしま朝市について取り上げて、猿猴川の河川緑地での朝市への提案点を述べる。特に、猿猴橋沿い側の活用について、SNS（例えば、Instagram など）の活用や、カーブロードの有効活用、河岸緑地の活用として朝市などの具体的な活用例について検討し、南区役所が10月29日（日）に開催するマルシェにも協力する予定である。

広島南区役所の勢良課長



経営学科4年の中本君



### ① 青山ファーマーズマーケット

この市場では全国各地の農家と連携し、毎週土日、10~16時まで開催している。市場では野菜を販売するだけでなく、旬の果物を使ったかき氷の販売や、消費量が減少しつつある日本酒の販売促進フェアも開催している。さらに、商品販売だけでなく、間引きミカンを使ったポン酢づくり、かまどご飯をみんなで味わうなど季節に合った体験型のイベントも行っている。



## ② 赤坂アークヒルズマルシェ

この市場は、オフィス兼商業ビルのアークヒルズの中にあるアーク・カラヤン広場で毎週火曜日と土曜日に開催している。ここでも季節の野菜だけでなく食べ物以外にも販売している。商業ビルの中で開催されるため、買い物ついでに立ち寄ることも可能である。アークヒルズ自体は、少し高所得者向けの施設であると思われる。



## ③ 恵比寿マルシェ

毎週日曜日 11～17 時まで恵比寿ガーデンプレイス内シャトー広場にて行われている。主に関東辺りの農家の農作物を取り扱っている。手作りのお菓子や加工品も販売している。運営主体は NKB マルシェ事務局である。この事務局は神奈川県たまプラーザでの TERRACE マルシェや横浜駅付近で行われるかもめマルシェも運営している。都市型の朝市は、どれもホームページがしっかりしていて、出店者の掲載を行っている。都市型朝市は朝市と言っておきながらも、開始時間は割と遅めである。土日の場合はあまり早起したくないの遅い時間から開いてくれることはとてもありがたい。マルシェと謳うとおしゃれな感じがするので都市型の場合、朝市よりも「マルシェ」という名で開催することが多い。



## ④ ひろしま朝市

毎週日曜日 8 時 15 分～10 時まで平和大通り沿いにて開催されている。広島市内の農林



## 「ひろしま朝市」春まつり

日時：4月21日 日曜日 8時15分～10時  
 場所：平和大通り緑地帯（富士見町）  
 内容：広島市内産の新鮮な野菜や果物、花や水産物、田舎寿司、漬物などの加工品の販売のほか、イベントをご用意しております。

### ★イベントのお知らせ★

●無料配布  
 広島湾で育てた昆布を無料で差し上げます。

先着 200 名様

### ●限定販売

・手づくり野菜コロッケ（1食 100円） 50食 8:15～

（安芸高田の戸山産の野菜だけで作ったコロッケです。）

・野菜たっぷり味噌汁（1杯 100円） 50食 8:15～

（安芸高田の戸山で育った新鮮野菜と手作りお味噌汁です。）

・コーヒーゼリーとごぼう（1杯 100円） 10食 8:15～

（広島湾でとれた天婦羅です。）

### ●福引

「ひろしまぞらち」産品や神田山荘の入浴券などが当たる福引があります。  
 （300円以上購入の方、先着 600 名様）



## 《各店自慢の新鮮とれたて 海の幸・山の幸》

- 広島漁師の会：広島湾でとれたびびりの地魚
- 松平産直：新鮮野菜のサラダセット、おいしい塩玉ねぎ
- 浜原さんの店：丹精込めて作った手作りコロッケと味噌汁が人気です。
- 石橋産直：新鮮シャキシャキサラダや、柔らかいステーキ
- 2017「夏」産直：新鮮野菜をいっぱい持っていきます。
- 天林産直：広島産の新鮮たまごがあります。
- 松本産直：ピリっとしたお味噌汁、手作り高菜漬物
- ゆきや店：春の山菜を入れて美味しく作ったお味噌汁とちりしめし
- 千原産直：地産に出ているアケの少ない新鮮なだけこ
- ここら産直：新鮮野菜をいっぱい持っていきます。
- あ・うん産：体に良いヨーグルトと糖が入ったシューキーホ
- 大田産直：あま〜くて美味しい味噌やどわけ、さんかん
- 大橋産直：春の香りがいい、山ウドとわらび
- 種々産直：自慢の多さを是非お楽しみあれ！
- 春日産直：ピリっとからい「塩たぎし」しょう油漬汁にどうぞ！
- 山崎産直：新鮮、あま〜いステップエンドウ
- 杉田産直：甘くておいしいイチゴ「レッドパール」

※必ず事前予約は、天候等の影響により変わる場合があります。

漁業者が生産した新鮮な野菜や果物、花や水産物のほか、漬物、餅などの加工品を販売している。

## マルシェにおけるフードコーナーの設置

次に、猿猴川の河川緑地でのマルシェにおいて主要イベントの一つとしてフードコーナーの設置を提案する。マルシェでは地域の新鮮な野菜や果物を販売するだけでなく朝食に向いている食事を提供することで集客しようと考えているからである。

### ①ザ広島ブランド認定特産品を使用した食事の提供

ザ広島ブランド認定特産品とは広島県の特産品で特に優れたものを認定した特産品の事である。ブランド認定をして全国に向けて PR することで、知名度をより高め、その消費拡大を図るとともに、広島県のイメージを向上させ、広島への誘客の促進と広島地域経済の活性化を図ることを目的としている。食事にザ広島ブランド認定された特産品を使用することで人々が興味を持ち、マルシェに足を運んでもらうことが狙いである。



### ②一般的な軽食の提供

一般的な軽食はたこ焼き、うどんなどのことを指している。これらはどこにでも売っているありふれたものではあるが人気がある食べ物のため販売した場合多くの人が買い



に訪れると予想する。他の飲食店との差別化としては味と比較的低価格で提供することが重要である。

### 猿猴橋の河川緑地でのマルシェへの提案点

これらの事例を踏まえて、成功事例には大きく3つの共通点が見られた。まず、第一に都市型朝市は地元の特産品を活かした販売方法や季節ごとに商品を変えるなど毎回何か新しいことを取り入れていることである。地元の魅力が詰まった商品やここでしか体験できないことなど、他の朝市と「差別化」していた。第二に、都市型朝市は駅やビルの周辺で開催することで気軽に立ち寄れる場になっていることである。たとえ朝市が目的でなくても朝市の賑わいや雰囲気を見て「行ってみたい」と思ってもらうことが重要なのではないだろうかと感じた。その点で今回の朝市では広島駅との連携を図るべきである。最後に、成功事例では、ホームページやSNSなどのインターネットを用いた情報発信を積極的に行っていることである。あらかじめ情報発信をすることで興味をもってもらう「きっかけ」を作っていた。

特に、ひろしま朝市では、広島でとれた新鮮な野菜や加工品を低価格で販売している。だから、他の朝市と差別化できている。また、数量限定にすることで早朝にもかかわらず多くの人を訪れているらしい。このようにひろしま朝市は他の都市型朝市と比べて「地元の人」をターゲットにしているように感じた。したがって、ターゲットが異なると販売方法や商品内容も大きく変わるから、まずは、ターゲットを絞ることが重要なのではないかと考える。

#### <参考文献>

都心で人気のマルシェ<[https://agri.mynavi.jp/2017\\_08\\_01\\_1899](https://agri.mynavi.jp/2017_08_01_1899)>

朝市人気ランキング<<https://retrip.jp/articles/60383/?page=3>>

ザ広島ブランド認定特産品<<http://hiroshima-brand.city.hiroshima.lg.jp/nintei.html>>